

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業
平成 27 年度第 1 回庁内保健師連絡会議に参加しました。
神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成 27 年 7 月 22 日(水)平塚市役所におきまして「災害時における保健活動について」-(公社)神奈川県理学療法士会災害対策委員会の活動等から学ぶ-をテーマに平成 27 年度第 1 回庁内保健師連絡会議が開催されました。平塚市職員の保健師、看護師を対象とした災害時における医療支援体制を検討する研修会の講師を担当させていただきました。

平塚市保健師連絡会では、「地域防災」をキーワードにした顔の見える関係性づくり、ネットワークの構築を目的に 2 月に開催した本会主催の「平塚・湘南西部地区災害対策キャラバン」以降、講師としてご参加いただいた古田美穂氏を中心に「災害が発生していない状況においても、日頃の地域での保健活動をとおして地域住民の生活を把握し地域の関係団体等との連携を図っておくことが必要である」という方針のもと、災害時における初動対応について積極的な検討がなされてきました。

予想震度	平塚市地震被害想定		
	県西部地域 震度5弱~6強	首都圏下型地域 震度5弱~6強	総合型地域 震度6強~7
自力脱出困難者数(人)	20	90	12,600
帰宅困難者数(人)	28,660	28,660	28,660
災害時要援護者 要介護3以上(人)	2,990	2,990	2,900
避難者数			
1日(人)	6,040	10,580	226,630
1か月後(人)	3,560	8,160	212,830

研修会では、災害発生時から3日間における各課の災害時の保健師の役割について検討し、具体的な医療トリアージと保健福祉的トリアージの体系や医療救護所の設営・運営について、また災害救援者のメンタルヘルス対策について東日本大震災時の具体的な事例をもとに積極的な意見交換を行いました。

医療トリアージと保健福祉的トリアージが同時並列的に展開するために災害時におけるリハビリテーションの役割も明確にしていく必要があります。そして「トリアージ」という言葉の使用に関しても検討を重ねていく必要性を感じました。



近隣の茅ヶ崎市や神奈川県からの参加もありいろいろな立場から、中長期的な「暮らし」の視点をもった災害支援について検討しました。またそれぞれの配属されている部署が抱える課題についても共有する事が出来ました。防災について考えていく地域づくりに繋がる。本会災害対策委員会主催の災害対策キャラバンより平塚市との連携が強まり、今回の講師依頼にも繋がりました。災害対策キャラバンの成果として「防災を学ぶことは地域づくりを学ぶこと」を改めて感じた研修会となりました。

災害対策委員会では災害支援対策関連の勉強会、研修会の講師派遣を承っております。9月27日(日)には第4回災害対策研修会を11月15日(日)には川崎北部災害対策キャラバンを開催いたします。より多くの方々のご参加をお願い致します。